

令和8年度京都市北部クリーンセンター
クレーン設備点検整備委託

委託仕様書

令和8年5月

京都市環境政策局北部クリーンセンター

一 目 次 一

第1 一般事項

1 委託業務等名	10 業務管理
2 履行場所	11 安全管理
3 履行期間	12 材料の規格
4 用語の定義	13 提出書類
5 業務の概要	14 履行確認等
6 関係法令等の遵守	15 支払い条件
7 費用の負担	16 秘密の保持
8 支給品等	17 疑義等
9 現場代理人及び安全管理者	18 環境マネジメントシステム

第2 (保守管理 点検整備) 委託内容

- 1 受入・供給設備
- 2 灰出し設備
- 3 余熱利用設備

第3 機器仕様一覧

参考資料

別表：クレーン定期自主検査表（年次）ごみクレーン

別表：クレーン定期自主検査表（年次）灰クレーン

別表：クレーン定期自主検査表（年次）発電機室天井クレーン

別表：試験成績表 ごみクレーン

別表：試験成績表 灰クレーン

別表：試験成績表 発電機室天井クレーン

様式1～6

委 託 仕 様 書

京都市北部クリーンセンター

(担当：施設係 正分、中島 電話 075-873-3020)

第 1 一般事項

1 委託業務等名

令和 8 年度京都市北部クリーンセンタークレーン設備点検整備委託

2 履行場所

京都市右京区梅ヶ畑高鼻町 2 7 番地

京都市北部クリーンセンター

3 履行期間

契約の日の翌日から 5 か月以内

ただし、詳細工程は、協議により決定するものとする。

4 用語の定義

(1) 監督員

監督員とは、発注者が本委託業務等について選定した総括監督員、主任監督員及び担当監督員を称している。特に発注者が提示しない場合は次のとおりとする。

ア 総括監督員 北部クリーンセンター 所長

イ 主任監督員 北部クリーンセンター 施設係長

ウ 担当監督員 北部クリーンセンター 施設係 担当係員

(2) 承諾

承諾とは、受注者が監督員に対し、書面で申し出た事項について、監督員が書面をもって了解することをいう。

(3) 指示

指示とは、監督員が受注者に対し、必要な事項を書面によって示すことをいう。

(4) 協議

協議とは、監督員と受注者が結論を得るために合議し、その結果を書面に残すことをいう。

(5) 施設名称

当施設とは、京都市北部クリーンセンターをいう。

(6) 定期交換部品等

定期交換部品等とは、本委託業務等対象機器において、一定の周期で交換、補充等を行う必要がある部品又は消耗品等をいう。

(7) 点検

点検とは、本委託業務等対象機器の機能を損なうことなく正常に稼働させるために、必要な項目及び関係法令等で定められた項目について、損傷、変形、腐食、異臭、その他の

異常の有無を調査することをいう。

(8) 整備

整備とは、本委託業務等対象機器の機能を損なうことなく正常に稼働させるために、定期交換部品等の交換、補充等及び機器の清掃、調整を行い、機器の不具合の発生を未然に防ぐことをいう。

(9) 書面

書面とは、発行年月日が記載され、署名又は押印された文書をいう。

5 業務の概要

(1) 点検整備等

本委託業務等は、本委託業務等対象機器の機能を損なうことなく正常に稼働させるために、本仕様書に基づき必要な点検整備、試運転調整、法定検査等及び提出書類の作成等を行うものである。点検整備内容の詳細は、「第2（保守管理 点検整備）委託内容」によるものとする。

受注者は、点検整備の着手前に、過去の当施設の委託業務報告書等を精査し、十分に現状を把握すること。

(2) 保守管理（保守管理委託の場合は）

本委託業務等対象機器以外を含めたプラント設備全体について、経年の変化等を把握し、機能が十分に発揮できる状態を保つよう努めること。

プラント設備に不具合が発生又は発生が予測される場合は、速やかに原因の調査、究明、影響の予測、改善策の提案（改善策に要する経費及び施設の停止期間を含む。）等を報告書にまとめ、監督員に提出すること。

6 関係法令等の遵守

受注者は、業務の履行にあたり、建設業法、労働基準法、労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、電気事業法、電気設備に関する技術基準を定める省令、道路交通法、公害関係法規、職業安定法及び本委託業務等に関するその他の関係法令等を遵守し、関係官公署の命令、指示に従うこと。

本委託業務等の履行期間中に、新たな関係法令及び通達等が施行され、業務内容を変更する必要が生じた場合は、協議し決定するものとする。

7 費用の負担

(1) 点検整備等

本委託業務等対象機器の点検整備、試運転調整、法定検査、提出書類の作成等に必要な費用は受注者の負担とする。

(2) 保守管理（保守管理委託の場合は）

保守管理に必要な費用は受注者の負担とする。本件委託業務等対象機器以外の不具合の改善策等に要する費用は発注者が負担する。

(3) 届出、法定検査等

業務の履行に当たり、関係官公署及び電気事業者等への届け出が必要なものについては、受注者の負担にて書類の作成及び届出手続き等を行うこと。ただし、法定検査等の受

検費用は発注者の負担とする。

(4) 特許

特許技術等の特殊技術の使用に係る費用は受注者の負担とする。

(5) 保証

履行期間の完了後1年間は、委託業務等対象機器の性能を保証するものとし、この期間中に履行不備によって発生した不具合の修復に係る費用は、受注者の負担とする。

8 支給品等

(1) 電力、用水

業務に必要な電力及び用水は、発注者が無償にて支給する。支給に当たっては、事前に監督員の承諾を得るとともに、監督員の指示に従わなければならない。指示に反するときは、発注者は支給をやめることが出来る。

(2) 事務所

業務を円滑に進めるため、監督員が指定する当施設内の場所を事務所として使用してもよい。使用するに当たっては、事前に監督員の承諾を得るとともに、監督員の指示に従わなければならない。ただし、発注者から備品の貸与は行わない。

(3) 支給品

発注者から支給品がある場合は、「第2（保守管理 点検整備）委託内容」に記載の交換部品等に市支給と記す。

(4) 支給品の管理

支給品は、受注者の責任において管理すること。管理及び整備の不良により使用不能となった場合は、受注者の負担にて再調達するものとする。

(5) 予定交換部品等

「第2（保守管理 点検整備）委託内容」に記載の予定交換部品について、契約期間内に納品品番の製造中止その他受注者の責に帰さない事由により当該品番の納品ができなくなった場合は、監督員の承諾を得たうえで当該品番と同等以上の機能を有すると認められる継品番又は上位品番を代替品番として納品することができることとする。また、予定交換部品以外に不良が確認又は予測された場合、監督員との協議により対応することとし、点検整備を行う場合は、監督員が在庫部品等を支給する。

(6) 工具類

工具類は、原則として貸与しない。

9 現場代理人及び安全管理者

受注者は、現場代理人及び安全管理者を自社社員から選任し、監督員の承諾を得ること。現場代理人及び安全管理者を変更したときも同様とする。

(1) 現場代理人（資格要件なし）

現場代理人は、本委託業務等の履行に関し、運営、取締りを行う他、受注者の一切の権限（委託料の変更、委託料の請求及び受領並びに契約の解除に係るものを除く。）を行使することができる。

現場代理人は、点検整備作業の期間中、履行場所に常駐し円滑な業務の進行を図ること。ただし、現場代理人の現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がなく、かつ、発

注者との連絡体制が確保されると監督員が認めた場合には、例外的に常駐を要しないこととする。

また、点検整備作業以外の期間においても、監督員の指示があった場合は、速やかに対応すること。

(2) 安全管理者

安全管理者は、本委託業務等において、安全対策を講じるものとする。

業種及び規模にかかわらず、安全管理者を選任すること（資格要件なし。）。

なお、政令で定める業種及び規模に該当する場合は、厚生労働省令で定める資格を有する者のうちから、安全管理者を選任すること。

10 業務管理

(1) 運転等への支障

受注者は業務履行に当たり、当施設の運転、保守管理業務に支障を与えないこと。

(2) 施設停止期間の短縮

業務履行に当たり、当施設の全部又は一部を停止する必要がある場合は、受注者は最短の停止期間で業務を履行できるよう計画し、監督員の承諾を得ること。

(3) 停電

受注者は、停電の日程を事前に監督員に確認し、対応すること。

(4) 他の点検整備等との調整

他の点検整備等と作業範囲や工程等が競合する場合は、十分に調整を行うこと。

(5) 連絡、報告

現場代理人は、監督員に当日の作業開始前に作業予定の連絡を行い、作業終了後に作業報告を行うこと。また、業務の進捗よく状況を、逐次監督員に報告すること。

(6) 資格、免許

資格、免許等を必要とする業務については、当該業務の期間中、有資格者を配置すること。

(7) 車両

入場する車両については、当施設の運営に支障がないように留意すること。

駐車車両には、車外から確認できる位置に、委託業務等名及び受注者名を記入した札等を置くこと。また、業務履行のために駐車場以外に駐車する必要がある場合は、事前に監督員の承諾を得ること。

(8) 作業時間

作業時間は、原則として午前9時から午後5時までとする。ただし、作業工程等の都合により、監督員が承諾した場合は、この限りではない。

(9) 服装

受注者及び再委託業者名が判断出来る服装にて作業を行うこと。

(10) 原状復旧

受注者は、点検整備作業終了に際して、本委託業務等対象機器及び周辺の後片付け清掃、原状復旧及び安全確認を行い、監督員の確認を受けること。

(11) 廃材処分

業務の履行に伴い発生する廃材は、関係法令等に従い適切に処理すること。ただし、監

監督員の指示するものは、指定する場所に保管すること。

11 安全管理

(1) 安全管理、災害予防

安全管理者は、安全管理、災害予防に万全を期すよう留意すること。

(2) 安全教育

安全管理者は、従事者に対して必要な安全教育を実施し、その結果を記録すること。監督員の指示があった場合は、安全教育の実施記録を提出すること。

(3) 従事者の指導

安全管理者は、施設内の立入禁止、火気厳禁、使用禁止、保護具着用等の指定場所における指示事項等を厳守するように、従事者を指導しなければならない。

(4) 安全計画書

安全管理者は、現場代理人と共に点検整備作業、仮設、搬入・搬出等に関する安全対策を、安全計画書にとりまとめ、点検整備作業着手前に監督員に提出すること。

(5) 使用機材等

安全管理者は、使用機材、仮設構造物、道工具類等について、使用前に安全性等を確認すること。

(6) 漏電保護

当施設のコンセント電源を利用する場合は、漏電保護機能付の安全装置を取付けること。

(7) 他委託業者との調整

安全管理者は、他の委託業者等とともに十分に調整、協力し、安全対策に努めること。

(8) 災害発生時の措置

万一、災害が発生した場合、安全管理者は、被害状況、原因及び対応を監督員に報告し、必要に応じて安全計画書を見直し、再提出すること。

(9) ダイオキシン類対策（ダイオキシンにばく露する恐れがある場合は）

安全管理者は、厚生労働省通達（平成13年4月25日、基発401号の2）の「廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策について」に基づく安全対策を行うこと。

法令等により、保護具着用が義務付けられている区画に入る場合は、適正な保護具の着用を行うこと。

12 材料の規格

使用材料は、日本産業規格（JIS）に適合したものであること。ただし、監督員の承諾したものについてはこの限りではない。

13 提出書類

受注者は、次の(1)～(4)の各段階で次に掲げる書類を（部数指定の場合を除く。）各1部提出すること。監督員の承諾を要する場合は、書類の表紙に監督員の押印欄を設けること。

書類は、表紙、目次及びそれに対する仕切りカード等を入れ見やすく整理すること。

また、提出書類を全て格納できるA4パンチファイルを業務着手前に提出するものとし、

A 4パンチファイルの表紙及び背表紙には、委託業務等名及び受注者名を明記すること。

以後の各段階での書類の提出方法についてはパンチ穴を開けた状態（請求書は除く）で封筒、クリアファイル等を用いること。

なお、書類の量が多い場合は分冊も可とするが、極力両面印刷し紙の使用量の削減を行うこと。

(1) 業務着手前

契約後、速やかに次の書類を提出し、監督員の承諾を得ること。

ア 現場代理人、安全管理者通知書・変更通知書（様式1）

イ 現場代理人、安全管理者経歴書（様式2）

ウ 予定工程表（様式3）

調査、設計、機材調達、報告書作成等に要する期間や、法定点検及び監督員による履行確認の予定を記載すること。

エ 体制表（緊急連絡先及び再委託先がある場合はそれを含む。）（様式4）

オ 労災保険への加入を証明する書類

（書類の発行までは、発行元への申請書等を提出すること。）

カ 資格、免許等の写し

資格、免許等が必要な作業がある場合は、該当作業の従事者の該当作業に関する資格、免許等の写しを提出すること。

キ 再委託承諾申請書（該当がある場合）（様式5）

再委託承諾申請書には、次の書類を添付すること。

(ア) 履行能力を証明する書類

再委託する業務内容に、技術条件が付されている場合及び資格、免許等が必要な場合は、履行能力を証明する書類として、資格、免許等の写しを提出すること。

(イ) 履行の質を担保する書類

過去の同種整備の履行実績を確認できる書類を提出すること。

(2) 点検整備作業着手前

点検整備作業着手前に次の書類を提出し、監督員の承諾を得ること。

ア 整備計画書

整備計画書は、整備内容を文書化したもので、以下の資料によって構成される。

(ア) 点検整備要領書

「第2（保守管理 点検整備）委託内容」の項目ごとに具体的な点検整備方法等をまとめたもの。

(イ) 使用機材等仕様書

整備に使用する機器、材料等の交換部品について、メーカ、型番、材質、形状、数量等の部品を特定するための情報を明らかにしたもの。

(ウ) 仮設計画書

(エ) 搬入、搬出計画書

(オ) 安全計画書

労働災害防止のため、危険有害要因等（法令等で定められていないものを含む。）をリストアップし、災害防止のために実施する内容をまとめて、提出すること。

(カ) (ア)から(オ)に関する図面

(3) 点検整備作業中

点検整備作業中に次の書類を提出すること。

ア 週間作業予定表

日曜日から土曜日までの1週間の作業予定表を作業予定週の前の週までに提出すること。点検整備期間が1週間を超える場合は、その都度、提出すること。

イ 作業日報（予定・実績）

作業予定及び実績（作業内容及び人工数）を各々1日分記した作業日報を作成し、作業日報（予定）は作業予定日の朝までに、作業日報（実績）は作業実施後速やかに提出すること。

ウ 履行確認要領書

監督員の指示により中間履行確認を行う場合及び業務完了時履行確認の際には、事前に履行確認要領書を提出し、監督員の承諾を得ること。

履行確認要領書には、履行確認する対象機器の外観、形状、寸法、機能等の確認項目、管理値等の判断基準及び使用計測機器の管理記録等を記すこと。

(4) 業務完了時

業務完了時に次の書類を提出し、監督員の承諾を得ること。

ア 業務報告書

業務報告書は、次の(ア)～(イ)の内容を明記し、(イ)については、「第2（保守管理 点検整備）委託内容」の項目ごとに構成すること。（1部提出、2部提出、__部提出）

(ア) 実施工程表（様式3）

(イ) 作業報告

a 作業日時

b 作業内容

c 所見

d 作業記録写真

(a) 作業の進行状況（点検整備前、点検整備中、点検整備後）に応じて作業種別ごとに撮影し、年月日、説明等を書き加えて整理すること。

なお、写真の被写体は、点検の結果（機器の損傷、消耗品の摩耗状況等）がわかるように撮影すること。

(b) 原則、デジタル写真とし、色彩はカラーとする。

(c) 有効画素数は、100万画素程度から300万画素程度とし、大きさはL版（サービスサイズ）程度とし、着手時に提出されているA4パンチファイルに綴じることのできる方式であること。

(d) これにより難しい場合は、監督員と協議すること。

(ウ) 健全度評価

下表に従い本委託対象機器の健全度を評価すること。健全度評価に当たっては、過去の当施設の委託業務報告書等を十分に精査すること。

健全度	状態	措置
4	支障なし	対処不要
3	軽微な劣化があるが、機能に支障なし。	経過観察
2	劣化が進んでいるが、機能回復が可能である。	部分補修、部分交換

1	劣化が進み、機能回復が困難である。	全交換
---	-------------------	-----

(エ) 整備スケジュール

本委託業務等対象機器の今後5年間に必要な整備内容、定期交換部品等及び概算費用を明記すること。整備スケジュールの検討に当たっては、過去の当施設の委託業務報告書等を十分精査すること。

(オ) 災害防止報告

(カ) 前各号 (ア)～(オ) に係る電子ファイル (□提出、提出不要)

CD又はDVD1枚に書き込み、A4パンチファイルに綴ることのできるCDリフィル (CDポケット) に格納して提出すること。

イ 業務完了届 (様式6)

ウ 請求書 (請求書は京都市請求書標準様式による。以下のサイトの様式を使用すること。 (<https://www.city.kyoto.lg.jp/kaikei/page/0000300554.html>))

14 履行確認等

(1) 試運転確認

点検整備完了時に監督員が指示した場合は、現場代理人立会いのもと、機器単体の試運転及び他の委託業者等も立会いのもとプラント設備 (関連設備) の総合的な試運転を行うものとする。

(2) 中間履行確認

業務等履行中において監督員が指示した場合は、現場代理人立会いのもと中間履行確認を実施するものとする。

(3) 完了時履行確認

受注者は、業務完了時に業務報告書を提出し、現場代理人立会いのもと監督員による履行確認を受けるものとする。

15 支払い条件

支払回数は業務完了後の一括支払いとし、前払金の支払は行わない。

16 秘密の保持

(1) 秘密保持の義務

発注者及び受注者は、本委託業務等を通じて知り得た個人情報等の業務上の秘密を外部に漏らす及び他の目的に使用してはならない。本委託業務等の履行に当たる受注者の従事者も同様の義務を負い、この違反について受注者はその責を免れない。

(2) 契約終了又は解除の場合

前項の規定は、契約が終了又は解除された後においても同様とする。

17 疑義等

業務上発生した疑義については、協議のうえ対処するものとする。

18 環境マネジメントシステム

当施設は、環境マネジメントシステムに基づいた環境保全の取組を進めており、受注者は業務遂行にあたり環境マネジメントマニュアル及びそれに係る文書類の内容を事前に確認し、その取組に協力すること。

第2 (□保守管理 点検整備) 委託内容

クレーン等安全規則第34条の規定によるクレーンの定期自主検査(年次点検)については、労働安全衛生法第45条第3項の規定に基づいて公表された「天井クレーンの定期自主検査指針」(昭和60年12月18日 自主検査指針公示第8号)に基づく下記の検査項目、検査方法及び判定基準に準拠して点検整備を実施するものとする。

詳細は「天井クレーンの定期自主検査指針・同解説」(厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課監修)の同書付表に示す天井クレーン定期自主検査表(年次)を参考に結果を取りまとめ、点検報告書を提出することとする。

クレーン性能検査について

検査日はクレーン検査証の有効期限である8月22日までに行う必要があり、協議により日程を決定する。性能検査に係る整備については、検査日まで実施し、履行期間内に性能検査に合格させるものとする。受注者は性能検査受検前に定期自主検査の点検報告書を提出し、性能検査に立会うこと。

1 受入・供給設備

(1) ごみクレーン(2基)

ア 整備内容

(ア) 定期自主検査(年次点検)

1式

以下の項目について実施すること。

- ・ ランウェイ部分点検清掃
ランウェイ・走行レールスパン・レベル測定・フックボルト点検増締
- ・ 鋼構造部分点検清掃
運転台、ガーダ・サドル、横行レール及びトロリフレーム
- ・ 走行機械装置点検清掃
電動機、軸継手、ブレーキ、歯車類、長軸・その他の軸、軸受、走行車輪及びアースブラシ
- ・ 横行機械装置点検清掃
電動機、軸継手、ブレーキ、歯車類、軸、軸受、横行車輪及びアースブラシ
- ・ 巻上機械装置点検清掃
電動機、軸継手、ブレーキ、歯車類、軸、軸受、ドラム、ワイヤーロープ
- ・ 潤滑装置点検清掃
潤滑装置
- ・ 電気関係点検清掃
電動機、配電盤、コントローラー・操作用開閉器、抵抗器、集電装置、機内配線、照明装置、表示灯及び回路の絶縁状態(メガ測定)
- ・ 安全装置点検清掃
巻過防止装置、非常停止装置、過負荷警報、衝突防止装置及び逸走防止装置
- ・ 荷重試験
つり上げ試験、走行・横行試験、たわみ試験(ウェイト(8.0t)は本市が貸与)
- ・ 電動リール(N-Dリール)点検

- | | |
|---|-----|
| (イ) 荷重計点検整備 | 1 式 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ ロードセルの抵抗値（入力間・出力間・シールド間）を4台とも測定し、規定範囲であることを確認する。 ・ ロードセルの出力電圧が0 mVでないことを確認する。 ・ バケットのみを吊った状態で、運転室表示を0.0 tに合わせる（ゼロ点調整）。 ・ バケットと定格荷重8.0 tの分銅を吊った状態で、運転室表示を8.0 tに合わせる（スパン調整）。 | |
| 点検整備及び調整終了後、各計器の動作確認を行うこと。 | |
| (ウ) N-D リール用カップリングリング交換 | 1 式 |
| (エ) 支持ワイヤーロープ交換 | 1 式 |
| (オ) 回転式リミット用チェーン、スプロケット交換 | 1 式 |
| (カ) 巻上ブレーキライニング交換 | 1 式 |
| (キ) 巻上開閉、横行走行コントローラー交換 | 1 式 |
| (ク) 性能検査立会 | 1 式 |

イ 交換部品

- | | |
|---|---------|
| (ア) N-D リール用カップリングリング
(CN 型, ND リール形式: BNA30, 3C44, R712, 10, 日電商工(株)) | 6 個 |
| (イ) 支持ワイヤーロープ (片側合金止め加工・プリテンション加工)
6×Fi(29) φ20×56m S | 4 本 市支給 |
| (ウ) 支持ワイヤーロープ (片側合金止め加工・プリテンション加工)
6×Fi(29) φ20×56m Z | 4 本 市支給 |
| (エ) 回転式リミット用チェーン (株式会社椿本チエイン RS40) | 2 個 |
| (オ) スプロケット (回転式リミット側 株式会社椿本チエイン RS40×23T-B) | 2 個 |
| (カ) スプロケット (リミット用減速機側 株式会社椿本チエイン RS40×15T-B) | 2 個 |
| (キ) 巻上開閉コントローラー (株式会社東電社 LUXL1B-SCSN32/SCSN74) | 2 個 |
| (ク) 横行走行コントローラー (株式会社東電社 LUXL1B-SCSN74/SCSN74) | 2 個 |
| (ケ) 巻上ブレーキライニング (サツマ電機株式会社 BRP2-280 用) | 8 個 |

2 灰出し設備

(1) 灰クレーン (2 基)

ア 整備内容

- | | |
|---|-----|
| (ア) 定期自主検査 (年次点検) | 1 式 |
| 以下の項目について実施すること。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ ランウェイ部分点検清掃
ランウェイ・走行レールスパン・レベル測定・フックボルト点検増締 ・ 鋼構造部分点検清掃
運転台、ガーダ・サドル、横行レール及びトロリフレーム ・ 走行機械装置点検清掃
電動機、軸継手、ブレーキ、歯車類、長軸・その他の軸、軸受、走行車輪 | |

- 及びアースブラシ
 - ・ 横行機械装置点検清掃
電動機、軸継手、ブレーキ、歯車類、軸、軸受、横行車輪及びアースブラシ
 - ・ 巻上機械装置点検清掃
電動機、軸継手、ブレーキ、歯車類、軸、軸受、ドラム、ワイヤーロープ
 - ・ 潤滑装置点検清掃
潤滑装置
 - ・ 電気関係点検清掃
電動機、配電盤、コントローラー・操作用開閉器、抵抗器、集電装置、機内配線、照明装置、表示灯及び回路の絶縁状態（メガ測定）
 - ・ 安全装置点検清掃
巻過防止装置、非常停止装置、過負荷警報、衝突防止装置及び逸走防止装置
 - ・ 荷重試験
つり上げ試験、走行・横行試験、たわみ試験（ウェイト（5.25 t）は本市が貸与）
 - ・ 電動リール（N-D リール）点検
- (イ) 荷重計点検整備 1 式
- ・ ロードセルの抵抗値（入力間・出力間・シールド間）を4台とも測定し、規定範囲であることを確認する。
 - ・ ロードセルの出力電圧が0 mVでないことを確認する。
 - ・ バケットのみを吊った状態で、運転室表示を0.0 tに合わせる（ゼロ点調整）。
 - ・ バケットと定格荷重5.25 tの分銅を吊った状態で、運転室表示を5.25 tに合わせる（スパン調整）。
- 点検整備及び調整終了後、各計器の動作確認を行うこと。
- (ウ) N-D リール用カップリングリング交換 1 式
- (エ) 性能検査立会 1 式
- イ 交換部品
- (ア) N-D リール用カップリングリング 2 個
(CN 型, ND リール形式: BNA30, 1C55, R712, 13, 日電商工㈱)
- 3 余熱利用設備
- (i) 発電機室天井クレーン（1基）
- ア 整備内容
- (ア) 定期自主検査（年次点検） 1 式
- 以下の項目について実施すること。
- ・ ランウェイ部分点検清掃
ランウェイ・走行レールスパン・レベル測定・フックボルト点検増締
 - ・ 鋼構造部分点検清掃
運転台、ガーダ・サドル、横行レール及びトロリフレーム

- ・ 走行機械装置点検清掃
電動機、軸継手、ブレーキ、歯車類、長軸・その他の軸、軸受及び走行車輪
- ・ 横行機械装置点検清掃
電動機、軸継手、ブレーキ、歯車類、軸、軸受及び横行車輪
- ・ 巻上機械装置点検清掃
電動機、軸継手、ブレーキ、歯車類、軸、軸受、ドラム、シープ、ワイヤーロープ及びフックブロック
- ・ 潤滑装置点検清掃
潤滑装置
- ・ 電気関係点検清掃
電動機、配電盤、コントローラ・操作用開閉器、抵抗器、集電装置、機内配線、照明装置、表示灯及び回路の絶縁状態（メガ測定）
- ・ 安全装置点検清掃
巻過防止装置、非常停止装置、過負荷警報、衝突防止装置及び逸走防止装置
- ・ 荷重試験
つり上げ試験、走行・横行試験、たわみ試験（ウェイト（10.0 t）は本市が貸与）

(イ) 性能検査立会

1式

4 発生材処分

発生材は本市が指定する場所へ運び込むこと。

第3 機器仕様一覧

1 ごみクレーン

(1) 本体

- ア 型式 屋内用油圧式バケット付天井走行クレーン
- イ 数量 2基
- ウ 吊上荷重 12.4 t
- エ 定格荷重 8.0 t
- オ 揚程 39.7 m
- カ 横行距離 14.95 m
- キ 走行距離 約34.1 m
- ク 電源
- a 主回路 440V 60Hz 3Φ
- b 制御回路 100V 60Hz 1Φ
- ケ 給電方式 クレーン:キャブタイヤカーテンハンガー
バケット:電動リール(N-Dリール、日電商工(株)製)
(形式 BNA30, 3C44, R712, 10)
キャブタイヤケーブル:RE(V)3PNCT-13C×3.5 SQ, φ36, 長さ62m
[コネクタ端子:日電商工(株)製、CF65-14030, (5.5 SQ MAX用)13個]
- コ ワイヤロープ JIS-G3525 6×Fi(29) 裸B種 φ20 56m
プリテンション加工及び片側合金止めシンプル加工
Sヨリ2本、Zヨリ2本、4本吊
- サ 潤滑方式 手動集中給油式但し減速機は飛沫給油、バケットは個別給油
- シ 設置場所 ごみピット上部
- ス 速度・電動機等(クレーン1基につき)

運動	速度 (m/sec)	容量 (kW)	極数 (P)	定格	数	ブレーキ	制御 方式	電動機種類
巻上	1.0	160	8	連続	1	ディスク型電磁	インバータ	全閉外扇かご形
開閉	11.0/15.5	15	4	連続	1	—	—	全閉外扇かご形
横行	0.67	3.7	4	連続	2	内蔵型電磁	インバータ	全閉外扇かご形
走行	0.67	5.5	4	連続	2	内蔵型電磁	インバータ	全閉外扇かご形

セ 製造者 富士ホイスト工業(株)

(2) 荷重計

- ア 型式 4点支持圧縮型ロードセル
- イ 製造者 東洋測器

2 灰クレーン

(1) 本体

ア 型式 屋内用油圧式バケット付天井走行クレーン

イ 数量 2基

ウ 吊上荷重 10.75 t

エ 定格荷重 5.25 t

オ 揚程 27.5 m

カ 横行距離 5.6 m

キ 走行距離 約26.3 m

ク 電源

a 主回路 440V 60Hz 3Φ

b 制御回路 100V 60Hz 1Φ

ケ 給電方式 クレーン:キャブタイヤカーテンハンガー、
バケット:電動リール (N-D リール、日電商工(株)製)
(形式 BNA30, 1C55, R712, 13)

キャブタイヤケーブル: RE(V)2PNCT-13C×3.5SQ, φ36, 長さ47m

[コネクタ端子:日電商工(株)製、CF65-14030, (5.5 SQ MAX用) 13個]

コ ワイヤロープ J I S - G 3 5 2 5 6 × F i (2 9) 裸B種 φ18 40m
プリテンション加工及び片側合金止めシンプル加工
Sヨリ2本、Zヨリ2本、4本吊

サ 潤滑方式 手動集中給油式但し減速機は飛沫給油、バケットは個別給油

シ 設置場所 灰ピット上部

ス 速度・電動機等(クレーン1基につき)

運動	速度 (m/sec)	容量 (kW)	極数 (P)	定格	数	ブレーキ	制御 方式	電動機種類
巻上	1.0	75	8	連続	1	ディスク型電磁	インバータ	全閉外扇かご形
開閉	8.0/12.0	18.5	4	連続	1	—	—	全閉外扇かご形
横行	0.5	2.2	4	連続	2	内蔵型電磁	インバータ	全閉外扇かご形
走行	1.0	5.5	4	連続	2	内蔵型電磁	インバータ	全閉外扇かご形

セ 製造者 富士ホイスト工業(株)

(2) 荷重計

ア 型式 4点支持圧縮型ロードセル

イ 製造者 東洋測器

3 発電機室天井クレーン

(1) 本体

ア 型式 地上押しボタン型 電動ホイスト付天井走行クレーン

イ 数量 1基

ウ 吊上荷重 10.2 t

エ 定格荷重 10.0 t

オ 揚程 約12.46 m (ホイスト揚程20 m)

カ 横行距離 9.4 m

キ 走行距離 18.97 m

ク 電源

a 主回路 440V 60Hz 3Φ

b 制御回路 100V 60Hz 1Φ

ケ 給電方式 横行：キャブタイヤメッセンジャー式

走行：キャブタイヤカーテンレール式

コ ワイヤロープ JIS-G3525 6×Fi(29) 裸B種 φ16、4本掛

サ 設置場所 タービン発電機室内

シ 速度・電動機等

運動	速度 (m/sec)	容量 (kW)	極数 (P)	定格 (%ED)	数量	ブレーキ
巻上	低速 0.01 /高速 0.1	低速 1.2 /高速 10.5	4	40	低速 1 高速 1	内蔵型電磁
横行	0.283	0.55	4	40	2	内蔵型電磁
走行	0.417	0.84	4	25	2	内蔵型電磁

ス 製造者 富士ホイスト工業(株)

別表:クレーン定期自主検査表(年次)

京都市 北部クリーンセンター

令和 年 月 日

検査番号	機種	ごみクレーン()号機	点検者		
	型式	8.0t油圧バケット付天井クレーン			
点 検 項 目			良否	処 置 等	
操作 室	① 視界は良いか				
	② 押し釦スイッチ表示灯の状態				
	③ 計器類. 合図用ブザーの状態				
	④ コントローラーの状態				
ラン ウ エイ	① ランウェイ周辺の障害物の有無				
	② 走行レールの取付状態				
	③ 走行レールの摩耗状態				
	④ 走行レールの曲がり				
	⑤ ストッパーの取付状態				
ク レ ー ン ガ ー ダ ー	① ボルト類の緩み				
	② ガーダーの変形. 部品の脱落				
	③ 溶接箇所の亀裂				
	④ 各部の錆. 腐食				
	⑤ 横行レール. ストッパーの状態				
	⑥ 歩廊. 手摺等の状態				
	⑦ 感電し易い所は無いか				
巻 上 装 置	① 巻上電動機の状態				
	② 巻上ブレーキの状態				
	③ ブレーキライニングの摩耗状態				
	④ ブレーキドラムの摩耗状態				
	⑤ ブレーキの調整状態				
	⑥ 軸受けメタルの状態				
	⑦ 撓み継ぎ手. ゴムブッシュの摩耗. 破損				
	⑧ 巻上リミットスイッチの状態				
	⑨ チェーンの張り具合				
	⑩ 巻上ドラムの摩耗. ロープ端の固定				
	⑪ 軸受け. カップリング等の状態				
	⑫ 減速機内ピニオン. ギヤの摩耗				
	⑬ 減速機の油量. 油漏れ				
	⑭ 各部の給油状態				
	⑮ 取付部のボルトの緩み				
	⑯ 給油装置の状態				
横行 装置	① 横行電動機の状態				
	② 横行ブレーキの状態				

点 検 項 目		良 否	処 置 等
横 行 装 置	③ ブレーキライニングの摩耗状態		
	④ ブレーキドラム又はディスクの摩耗状態		
	⑤ ブレーキの調整状態		
	⑥ 車輪の摩耗. フランジの片減り		
	⑦ 軸受け. カップリング等の状態		
	⑧ 減速機内ピニオン. ギヤの摩耗		
	⑨ 減速機の油量. 油漏れ		
	⑩ 各部の給油状態		
	⑪ 取付部のボルトの緩み		
	⑫ 給油装置の状態		
走 行 装 置	① 走行電動機の状態		
	② 走行ブレーキの状態		
	③ ブレーキライニングの摩耗状態		
	④ ブレーキドラム又はディスクの摩耗状態		
	⑤ ブレーキの調整状態		
	⑥ 車輪の摩耗. フランジの片減り		
	⑦ 車輪軸の状態		
	⑧ 軸受け. カップリング等の状態		
	⑨ ピニオン. ギヤの摩耗		
	⑩ 減速機の油量. 油漏れ		
	⑪ 各部の給油状態		
	⑫ 取付部のボルトの緩み		
	⑬ 走行リミットスイッチ. ストライカーの状態		
	⑭ 給油装置の状態		
給 電 装 置	① 横行走行給電装置の状態		
	② 給電レールの状態		
	③ ケーブルキャリアの状態		
	④ キャブタイヤケーブルの損傷		
	⑤ ケーブルリールの作動状態		
	⑥ バケット用キャブタイヤケーブルの損傷		
	⑦ ケーブルの巻取り具合		
	⑧ 駆動チェーンとスプロケットの状態		
ロ ー プ	① 素線の断線		
	② ワイヤロープの摩耗		
	③ キンクは無い		
	④ 形崩れ. 腐食は無い		
	⑤ 給油状態		
配 線	① 電路の露出は無い		
	② ダクト. 配線管の取付状態		
	③ 中継ボックスの損傷. 取付状態		
	④ 端子取付ねじの緩み		

点 検 項 目		良否	処 置 等
配線	⑤ 電線の接続部の状態		
制 御 盤	① 各機器の損傷		
	② 各接触器接点の摩耗		
	③ サーマルリレー、タイマーの設定値		
	④ 各回路制御装置の状態		
	⑤ 各機器の動作中の異常音、過熱、焼損		
	⑥ 各機器の取付状態		
	⑦ 各表示灯の点灯状態		
	⑧ 各接続部ビスの状態		
抵 抗 器	① 抵抗器の破損、変形		
	② 抵抗器の取付、接続部の緩み		
	③ カバーの取付状態		
	④ 周辺に可燃物は無いか		
付 属 機 器	① ガーター灯の点灯状態		
	② 中心表示灯の点灯状態		
	③ 荷重計装置の状態		
	④ 点検用コンセント		
	⑤ 主回路開閉器箱の作動状態		
	⑥ 警報装置		
無 負 荷 運 転	① 各動作運転時の振動、異常音		
	② 各ブレーキの効き具合		
	③ 各リミットスイッチの作動状態		
	④ バケットの開閉動作、開閉完了表示灯		
定 格	① 各動作運転時の振動、異常音		
	② 機体の蛇行、振動、異常音		
安 全 ネ ッ ト	① ネットの状態		
	② ワイヤロープに緩みは無いか		
	③ ワイヤロープの摩耗、断線は無いか		
	④ 金具類の摩耗は無いか		
備 考			

別表:クレーン定期自主検査表(年次)

京都市 北部クリーンセンター

令和 年 月 日

検査番号	機種	灰クレーン()号機	点検者		
	型式	5. 25t油圧バケット付天井クレーン			
点 検 項 目			良否	処 置 等	
操作 室	① 視界は良いか				
	② 押し釦スイッチ表示灯の状態				
	③ 計器類. 合図用ブザーの状態				
	④ コントローラーの状態				
ラン ウ エイ	① ランウェイ周辺の障害物の有無				
	② 走行レールの取付状態				
	③ 走行レールの摩耗状態				
	④ 走行レールの曲がり				
	⑤ ストッパーの取付状態				
ク レ ー ン ガ ー ダ ー	① ボルト類の緩み				
	② ガーダーの変形. 部品の脱落				
	③ 溶接箇所の亀裂				
	④ 各部の錆. 腐食				
	⑤ 横行レール. ストッパーの状態				
	⑥ 歩廊. 手摺等の状態				
	⑦ 感電し易い所は無いか				
巻 上 装 置	① 巻上電動機の状態				
	② 巻上ブレーキの状態				
	③ ブレーキライニングの摩耗状態				
	④ ブレーキドラムの摩耗状態				
	⑤ ブレーキの調整状態				
	⑥ 軸受けメタルの状態				
	⑦ 撓み継ぎ手. ゴムブッシュの摩耗. 破損				
	⑧ 巻上リミットスイッチの状態				
	⑨ チェーンの張り具合				
	⑩ 巻上ドラムの摩耗. ロープ端の固定				
	⑪ 軸受け. カップリング等の状態				
	⑫ 減速機内ピニオン. ギヤの摩耗				
	⑬ 減速機の油量. 油漏れ				
	⑭ 各部の給油状態				
	⑮ 取付部のボルトの緩み				
	⑯ 給油装置の状態				
横行 装置	① 横行電動機の状態				
	② 横行ブレーキの状態				

点 検 項 目		良 否	処 置 等
横 行 装 置	③ ブレーキライニングの摩耗状態		
	④ ブレーキドラム又はディスクの摩耗状態		
	⑤ ブレーキの調整状態		
	⑥ 車輪の摩耗. フランジの片減り		
	⑦ 軸受け. カップリング等の状態		
	⑧ 減速機内ピニオン. ギヤの摩耗		
	⑨ 減速機の油量. 油漏れ		
	⑩ 各部の給油状態		
	⑪ 取付部のボルトの緩み		
	⑫ 給油装置の状態		
走 行 装 置	① 走行電動機の状態		
	② 走行ブレーキの状態		
	③ ブレーキライニングの摩耗状態		
	④ ブレーキドラム又はディスクの摩耗状態		
	⑤ ブレーキの調整状態		
	⑥ 車輪の摩耗. フランジの片減り		
	⑦ 車輪軸の状態		
	⑧ 軸受け. カップリング等の状態		
	⑨ ピニオン. ギヤの摩耗		
	⑩ 減速機の油量. 油漏れ		
	⑪ 各部の給油状態		
	⑫ 取付部のボルトの緩み		
	⑬ 走行リミットスイッチ. ストライカーの状態		
	⑭ 給油装置の状態		
給 電 装 置	① 横行走行給電装置の状態		
	② 給電レールの状態		
	③ ケーブルキャリアの状態		
	④ キャブタイヤケーブルの損傷		
	⑤ ケーブルリールの作動状態		
	⑥ バケット用キャブタイヤケーブルの損傷		
	⑦ ケーブルの巻取り具合		
	⑧ 駆動チェーンとスプロケットの状態		
ロ ー プ	① 素線の断線		
	② ワイヤロープの摩耗		
	③ キンクは無い		
	④ 形崩れ. 腐食は無い		
	⑤ 給油状態		
配 線	① 電路の露出は無い		
	② ダクト. 配線管の取付状態		
	③ 中継ボックスの損傷. 取付状態		
	④ 端子取付ねじの緩み		

点 検 項 目		良否	処 置 等
配線	⑤ 電線の接続部の状態		
制 御 盤	① 各機器の損傷		
	② 各接触器接点の摩耗		
	③ サーマルリレー, タイマーの設定値		
	④ 各回路制御装置の状態		
	⑤ 各機器の動作中の異常音, 過熱, 焼損		
	⑥ 各機器の取付状態		
	⑦ 各表示灯の点灯状態		
	⑧ 各接続部ビスの状態		
抵 抗 器	① 抵抗器の破損, 変形		
	② 抵抗器の取付, 接続部の緩み		
	③ カバーの取付状態		
	④ 周辺に可燃物は無いか		
付 属 機 器	① ガーター灯の点灯状態		
	② 中心表示灯の点灯状態		
	③ 荷重計装置の状態		
	④ 点検用コンセント		
	⑤ 主回路開閉器箱の作動状態		
	⑥ 警報装置		
無 負 荷 運 転	① 各動作運転時の振動, 異常音		
	② 各ブレーキの効き具合		
	③ 各リミットスイッチの作動状態		
	④ バケットの開閉動作, 開閉完了表示灯		
定 格	① 各動作運転時の振動, 異常音		
	② 機体の蛇行, 振動, 異常音		
安 全 ネ ット	① ネットの状態		
	② ワイヤロープに緩みは無いか		
	③ ワイヤロープの摩耗, 断線は無いか		
	④ 金具類の摩耗は無いか		
備 考			

別表:クレーン定期自主検査表(年次)

京 都 市 北 部 ク リ ー ン セ ン タ ー

令和 年 月 日

検査番号	機種	発電機室クレーン	点検者		
	形式	10t ホイスト付き天井クレーン			
点 検 項 目				良否	処置等
走行 レール	①	走行範囲の障害物の有無			
	②	レールの曲がり及び異常の有無			
	③	ストッパの変形、脱落及び取付ボルトの緩みの有無			
	④	レールの異常摩耗の有無			
走行 部	①	ガーダーとサドル取付ボルトの緩みの有無			
	②	横行レールの取付状態			
	③	横行用ストッパの取付状態			
	④	ホイールギヤ歯面及び車輪の給油状態			
	⑤	走行車輪の踏み面、フランジの異常摩耗、緩みの有無			
	⑥	車輪軸、キーププレートの変形、緩みの有無			
	⑦	サドルのバッファの固定状態			
	⑧	走行電動機、減速機取付ボルトの状態			
操 作 関 係	押 釦 ス イ ッ チ 関 係				
	①	外観に異常は無いか			
	②	ケーブル貫通部異常の有無			
	③	各操作釦のインターロックは完全か			
	④	接点の損傷及び摩耗の状態			
	⑤	配線及び接地線締付ネジ緩みの有無			
	⑥	スイッチボックス及び絶縁物の損傷の有無			
	電 磁 接 触 器 関 係				
	①	接点の損傷及び摩耗状態			
	②	配線締付ネジ緩みの有無			
	③	作動の確認			
	過 巻 リ ミ ッ ト ス イ ッ チ 関 係				
	①	リミットレバーの作動状態			
	②	接地の状態			
③	配線締付ネジ緩みの有無				
④	リミットスイッチの作動位置の調整				

点 検 項 目			良否	備 考
ブレーキ	①	ストロークがメーカー規定の限界を越えていないか		
	②	ライニングの摩耗状態		
	③	リンク機構部の摩耗状態		
	④	ネジ等の緩みの有無		
ワイヤーロープ	①	素線の断線の有無		
	②	摩耗の状態		
	③	キンクの有無		
	④	著しい形崩れ又は腐食の有無		
	⑤	ロープエンド等の異常の有無		
	⑥	イコライザーシーブと接触している部分の異常の有無		
	⑦	ワイヤーロープ油塗布		
フックブロック及シーブ関係	フックブロック			
	①	スラストベアリングの回転状態		
	②	フックナットの回り止めの状態		
	③	シーブ損傷の有無		
	④	シーブ溝の摩耗状態		
	⑤	軸受の摩耗状態		
	⑥	シーブケース、キーププレート、割ピン等の損傷、緩みの有無		
	フック			
	①	摩耗の状態		
	②	亀裂の有無		
	③	口の開き、変形の有無		
	イコライザーシーブ			
	①	回転の状態		
	②	損傷の有無		
	③	取付部の状態		
給電関係	ケーシングの亀裂の有無			
	①	本体吊りピン、トロリーフレーム、取付ボルトの緩みの有無		
	②	車輪の踏面及びフランジの摩耗状態		
	③	各部給油状態		

点 検 項 目		良否	備 考	
給 電 関 係	機 内 配 線			
	①	機内配線の外傷の有無及び取付状態		
	②	ガードー上のスイッチボックス等の取付部の緩みの状態		
	キャブタイヤケーブル			
	①	ケーブルの損傷はないか		
	②	ケーブルキャリアの状態		
試 運 転	③	レールの状態		
	①	巻上、下の作動が正しいか、異常音が無いか		
	②	過巻リミットスイッチが上限で正しく作動するか		
	③	ブレーキが正常に作動するか		
	④	横行の作動が正しいか、異常音、異常振動が無いか		
	⑤	走行の作動が正しいか、異常音、員上振動が無いか		
	⑥	照明・ブザーが正常に作動するか		

別表:試験成績表

検査 番号		機種	ごみクレーン()号機	期 日	年	月	日	湿度	%
			8.0t油圧バケット付天井クレーン					気温	℃

京都市北部クリーンセンター

絶縁抵抗

試験年月日 平成 年 月 日 使用計測器 500V メガー

測定値

巻上電動機1次側	MΩ
巻上電動機2次側	- MΩ
横行電動機NO. 1	MΩ
横行電動機NO. 2	MΩ
走行電動機NO. 1	MΩ
走行電動機NO. 2	MΩ
開閉回路	MΩ
主回路	MΩ
操作回路	MΩ
付属回路	MΩ

ガーターデフレクション

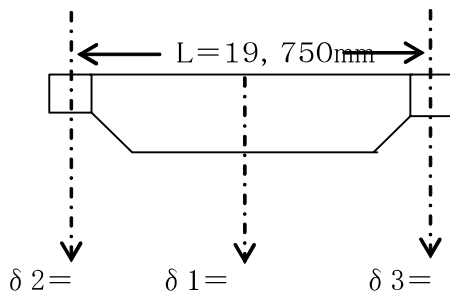
試験年月日 平成 年 月 日

測定方法 レベル透視

測定値

試験荷重 8.0 t

荷重種別 鋼鉄板



$$\text{デフレクション} = \frac{\delta}{L} \times 19,750$$

$$\text{但し } \delta = \delta 1 - \frac{\delta 2 + \delta 3}{2}$$

デフレクション許容値 =

デフレクション測定値 = _____

$$\text{スパン} \times \frac{1}{800}$$

別表:試験成績表

検査番号		機種	灰クレーン()号機	期日	年	月	日	湿度	%
			5. 25t油圧バケット付天井クレーン					気温	℃

京都市北部クリーンセンター

絶縁抵抗

試験年月日 平成 年 月 日 使用計測器 500V メガー

測定値

巻上電動機1次側	MΩ
巻上電動機2次側	- MΩ
横行電動機NO. 1	MΩ
横行電動機NO. 2	MΩ
走行電動機NO. 1	MΩ
走行電動機NO. 2	MΩ
開閉回路	MΩ
主回路	MΩ
操作回路	MΩ
付属回路	MΩ

ガーターデフレクション

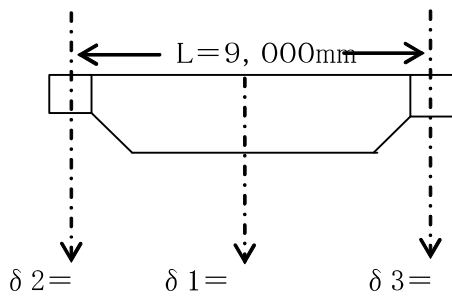
試験年月日 平成 年 月 日

測定方法 レベル透視

測定値

試験荷重 5.25 t

荷重種別 鋼鉄板



$$\text{デフレクション} = \frac{\delta}{L} \times 9,000$$

$$\text{但し } \delta = \delta 1 - \frac{\delta 2 + \delta 3}{2}$$

デフレクション許容値 =

デフレクション測定値 = _____

$$\text{スパン} \times \frac{1}{800}$$

(様式1)

現場代理人、安全管理者 通知書・変更通知書

令和 年 月 日

京 都 市 長

住 所

商号又は名称

代 表 者 名

下記のとおり現場代理人、安全管理者を決定・変更したので、経歴書を添えて通知します。

記

委託業務等名

履 行 場 所

現 場 代 理 人

安 全 管 理 者

現場代理人、安全管理者 経歴書

令和 年 月 日

京 都 市 長

住 所

商号又は名称

代 表 者 名

氏 名

住 所

生 年 月 日 年 月 日

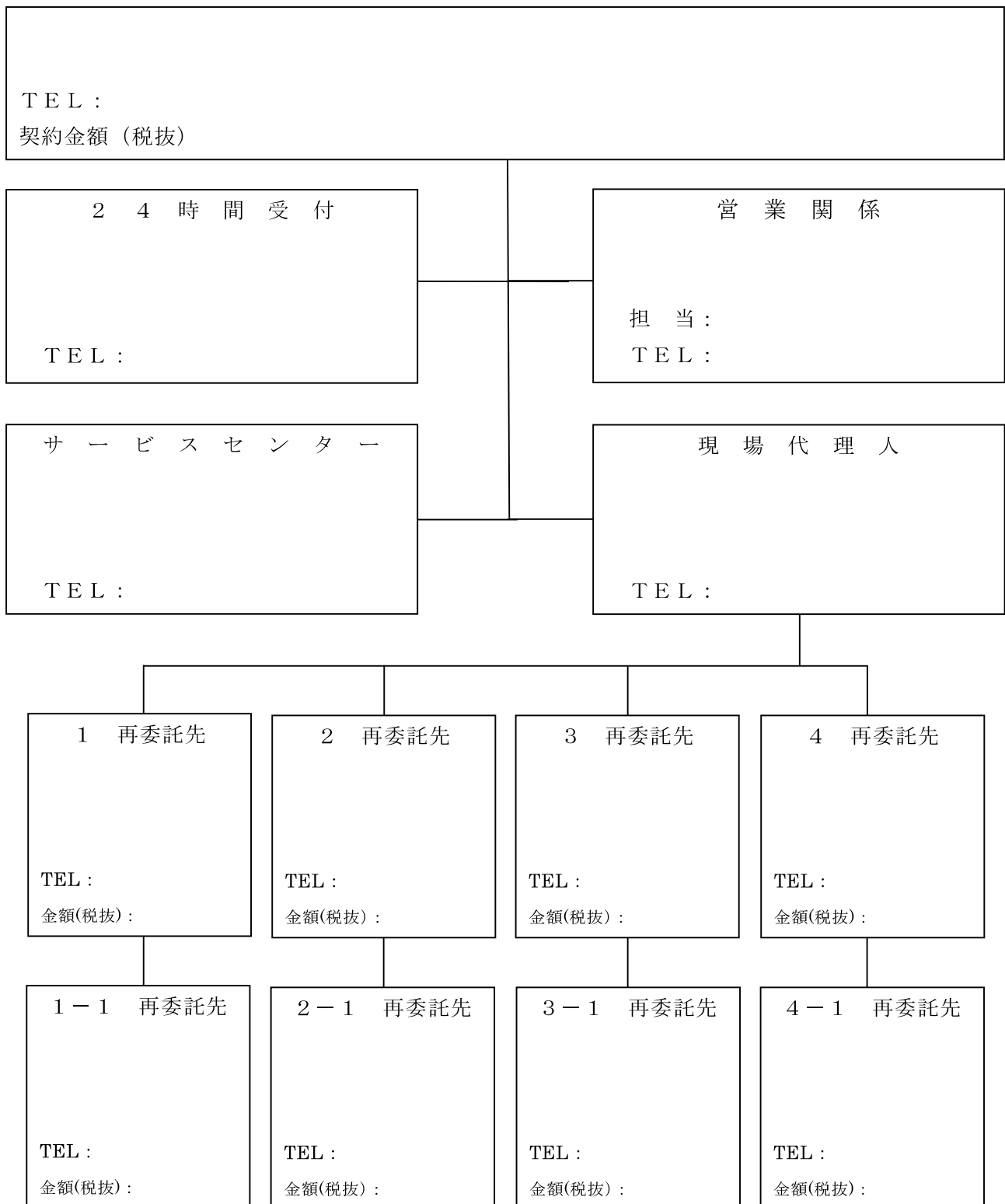
学 歴 年 月 卒業

資 格

職歴・業務履歴

体 制 表

委託業務等名



再委託承諾申請書

令和 年 月 日

京 都 市 長

住 所
商号又は名称
代 表 者 名

契約の履行に当たり、下記のとおり再委託を行うこととしたいので承諾願います。

記

- 1 委託業務等名
- 2 再委託の内容
- 3 再委託の相手方 「 」
 - (1) 商号又は名称
 - (2) 代表者の職・氏名
 - (3) 所在地
 - (4) 電話番号
 - (5) 再委託予定金額 (税抜き及び再委託割合を明記すること)
再委託割合
 - (6) 業種

業 務 完 了 届

令和 年 月 日

京 都 市 長

住 所

商号又は名称

代 表 者 名

下記のとおり委託業務等が完了しましたので通知します。

記

委託業務等名

履 行 場 所

履 行 期 間

委 託 料

完 了 年 月 日